

- 延岡市では、林業の成長産業化を図るため、市内の事業者を含む3者以上で構成する連携体が、延岡産木材の利用促進に繋がる製品を3年以内に開発することを条件に、その研究・開発にかかる経費について支援した。
- 事業採択にあたっては、連携体が外部有識者や関係機関で構成する審査会でプレゼンテーションを行い、審査結果で補助率を決定した。
- 令和5年度は、プロジェクト2件について支援を行った。
 新規：①Ply Core CLTを用いた内装家具の開発 新規：②木製家具・小物の開発

□ 事業内容

1 木材利用拡大となる新商品開発への支援

市内の事業者を含む3人以上で構成する連携体のプロジェクトに対し、3年以内に商品化することを条件に、その研究・開発にかかる経費を支援した。（上限額300万円/年、3年間上限額900万円）

【事業費】 4,809千円（全額譲与税4,809千円）

【補助率】 審査会で、審査員ごとに指定した項目により採点し、その採点の平均点数を補助率とした。

【実績】 ①延岡産木材を使用しPly Core CLTを用いた内装家具の開発
 ②延岡産木材による木製家具、小物の開発

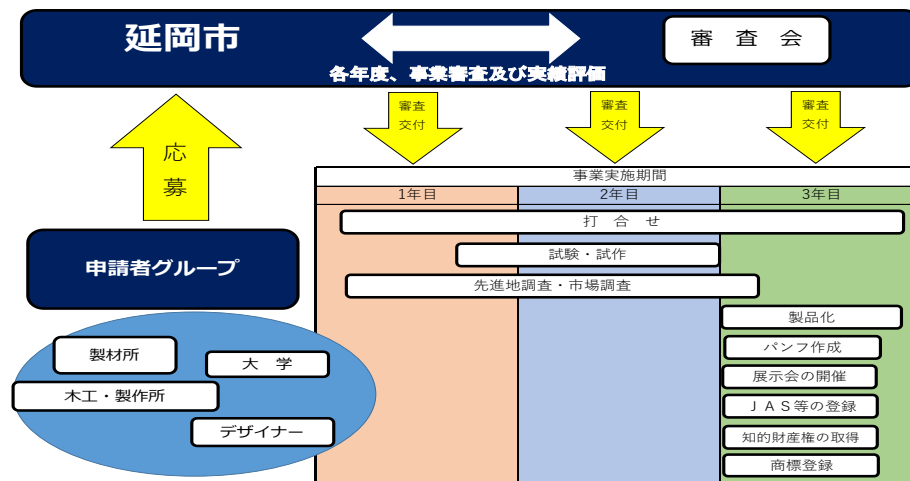


（Ply core CLTを活用したシェルフ）



（木製トレイ（お盆））

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

単年度での商品開発は難しいことから、商品開発から販売までに至る研究・調査費用を複数年(3年以内)支援することにした。また、外部有識者からなる審査会を行うことで様々な意見を反映した。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：150,100千円	②私有林人工林面積（※1）：20,395ha
③林野率（※1）：84.7%	④人口（※2）：118,394人
	⑤林業就業者数（※2）：378人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より